

四倉築港の元書記

大金横領自首

意外な事實を暴露す

平検事局頗る緊張し

三堀検事郡山へ

元四倉築港事務所書記金澤四郎(三)は昨日四倉署に出頭前記事務所勤務中一千數百圓を横領費消したと意外な事實を自首したため同署にては事件を重大視し同夜身柄を平検事局に押送直ちに三堀検事局重取調べの上昨夜十一時平刑務所に強制收容した向同人昨年十二月築港事務所の書記を辭職して以來郡山市に隠棲し居り今回意を決して突然自首したるものにて何等か背後に複雑な事情潜伏するもの、如く三堀検事は本日午前九時郡山虎丸に向つて出張したが同地に於て後藤検事正と會見右の事件を打合せの上今後の捜査方針を決定する模様である

各校一齊に

入學考査!

△……小……魂を

戦かす發表日

平町警中、平商、警女各中等學校では目下新學年の生徒募集集中であるが定員は警中二百五十名、平商百十名、警女二百名願書締切は警中警女が三月十五日、平商が三月二十四日、二十七、八の兩日一齋に入學考査を行ひ警中、警女が三十日平商が二十九日各合格者を發すると

高等科研究会

平町各小學校高等科同學會研究會は本日午前十一時半より第二小學校に於て開き教授方法訓練其他種々事項に就いて協議した

磐崎村議

補欠選舉

磐崎村議に當選した吉田

め村議一名欠員中であつたが来る廿三日午前七時より補缺選舉を行ふと

監査員改選

磐銀債權者

廿七日集合

磐城銀行破産監査員井上茂作氏は此程辭任の申出を平區裁判所に提出したので後任選舉の爲め本月廿七日午前十時より區裁判所内に全債權者が集合すると

就學兒童が

本年も増加

未屆寄留者に注意

本町各小學校の本年度就學兒童は第一二百十七名、第二二百十八名、第三二百三十八名、合計六百七十二名で昨年比し百二十二名の増加を示し内本籍者が二百五十名、寄留者が四百五十二名であるが此外未屆寄留者が多數ある模様であるから此際一日も早く届出られ度いと因に今期該當兒童は昭和二年四月二日より同三年四月一日迄出生のものであると

赤井林野組合の

代議員會採める

收支決算に不審ありとて

赤井村林野保護組合では十八日午前十時から同村小學校に於て代議員會を開き組合長以下十九名出席議半ばに達するや數名の代議員から前年度の收支決算に種々不審の点ありと質問續出議場の空氣既に激化紛糾したるが結局六名の委員を舉げて

き七日午前十時より卒業式を舉行するが四年生の學期考査は三月五日より十二日迄三年生以下は九日より十日迄である

前年度の優勝者

長瀬嬢が不出場

卓球の女子個人選手權

新人の熱戦を豫想

石城卓球協會主催第三回郡下女子個人選手權大會は来る廿五日午前九時より磐城高等女學校講堂に催されるが前年度優勝者たる高女の長瀬選手は不出場と目されるので選手權を指して新人の熱戦を豫想されて居るが参加者は丸友運動具店に申込み度いと

警女校に新校旗

△……高島屋で調製中

既報警女では皇太子殿下御降誕記念事業として奉安庫前に植樹を行つたが更らに事業の一つとして新たに校旗を制定する事になり目下東京高島屋で調製中であるが意匠は同校教授酒井英吉氏の手になる絢爛なものであると

平町人事

回出生

△長崎町三十當時東京市荒川區三河島町五ノ二八四
山田秀二氏九女和子
△正月町渡邊了氏二女靜枝
△岡市四番町九坂井勝氏(三〇)大町三河田ハルエ

事務所新設ニ付御披露

啓拜 毎々格別御引立御援助ヲ賜リ奉深謝候
陳者今回業務擴張ノ爲メ募集事務所ヲ新設其主任トシテ不肖が非命致シ候ニ就テハ今後共相變リマセズ御聲援御禮ノ程重テ御願申上候 敬具

有給外務員數名募集
明治生命保險株式會社
平地方募集事務所
主任 小野勝康
(長 吉)
平町仲町二四

木村外科醫院

平町五丁目橋際
電話九〇三番

美味! 芳醇! 宗正らひた

山崎合名會社
電話一〇番

けふ午後一時

久ノ濱に大津浪

怒濤逆巻き市街混亂 倒壊家屋多數

本日午後一時久ノ濱町に突如大海嘯襲來し堤防を一擧にして缺潰 荒れ狂ふ怒濤は渦巻いて市街地に押寄せ目下同町は逃げ惑ふ避難民の叫喚と物凄き大潮聲に宛然修羅場を観るが被害最甚甚の個所は同町東町で 同地は土地低いため家屋倒壊されたるもの多數あり消防組員青年團青年訓練所總出動で避難民の救護及び家財等の搬出にあたり混亂その極に達してゐる死傷目下不詳

漁夫二名甲板から

海中にゆり落さる

激浪の爲め船體大動揺

屍體は未だ発見されず

江名町字仲ノ作吉田厚司氏所有第二寶丸は昨日午後六時半頃船長長瀬貞吉外九名が乗込み江名漁港に入港の爲め港口に差懸つた際甲板の上に佇立して居た漁夫新瀨縣北蒲原郡長塚村字村松花生れ平野福吉(三)同村生れ松田清次郎(三)の兩名は激浪の爲め船體動揺の機みを食つて海中に墜落行衛不明となり入港と同時に青年團消防組員の應援により屍體捜査を行つたが本朝に至るも発見されないと

江の網でも

漁夫溺死

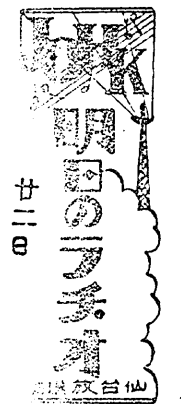
四倉町鈴木伊勢松氏所有漁船平丸九四馬力は去る十九日午前三時頃強風の爲め久ノ濱町字江ノ網港に避難の爲め同船漁夫相馬郡小高町字塚原生れ高野忠主(三)が小舟に乗つて繋船作業中小舟が轉落溺死した

清酒品評

廿日から開く

石城酒造組合では來月廿日と三日間半稅務署樓上で

三校長が出張 平第一篠山、第二津田、第三赤津の各校長は既報の如く本日より四日間植田小學校に於て文務省主催の下に開催される成人教育講座聴講の爲め出張した



今晩も明日も北西の風晴曇半す

今晩の部

後六、〇〇 子供あ時間
名作物語「ガリヴァ旅行記」東京放送童話研究会
後六、二五 基礎佛語講座
目黒三郎
後七、三〇 講演多門將軍

を憶ふ一長谷部照伍少將
後八、〇〇 舞臺劇 大阪浪花座中繼新釋「出世太閤記」中村魁車一座
後八、三五 シロフオン河合ダンス
後八、五〇 連續講談「小

修繕が口實

時計を捲き上ぐ

不敵の詐欺漢

小名濱町に最近時計修繕工を装ふ男が現はれその修繕を引受けてそのまゝドロンを極め込むとの噂あるので同町駐在所員は極力行衛検査中昨日午後三時同町新町を徘徊中の舉動不審の男を引致取調べた處此男は秋田縣雄勝郡辨天村八字津沼生れ住所不定

前科五犯 伊藤敬治

(五)で昭和六年北海道網走刑務所を出獄以來時計修繕を以つて郡内各地を荒し段々以つて郡内各地を荒し廻つてゐたもので現在平署に持ち込まれた時計の贓品が十數個あり係官もこの時計の山を前にしてどう處分したらよいものかと頭をかき上げてゐる

馬車から突き落す

拒絶されて憤慨の餘り

罰金四十圓

既報入遠野村大字入定字久保田一三荷馬車挽折笠豊一(三)が去る十三日渡邊村大

金原の仇討一龍齊山
後九、三〇 時報ニ
ス 氣象通報 番組豫告

明日の部

前七、〇〇 基礎英語講座
橋本忠夫
前八、〇〇 家庭講座
「自然と花振」綱宗
後八、〇〇 和洋合奏富士管絃樂團
後八、〇〇 家庭大學講座
「病人と食物」佐々藤半
後八、四〇 受驗講座「歴

史」齋藤茂
後六、〇〇 子供の時間
名作物語「ガリヴァ旅行記」堀英四郎
後七、三〇 講演「オーストラリアの動亂と國際政」局信天淳平
後八、〇〇 獨唱 藤原義江
後八、三〇 俚謠 有海喜久治連
後八、五〇 連續講談「小金原の仇討」(一)龍齊貞山

料面談
△店員 二十才 尋卒 給
料面談

花柳病科 小兒科 内科 藤沼醫院

入院應需

町番 七〇七
町屋 五〇七
町電 五〇七

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める川崎回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)



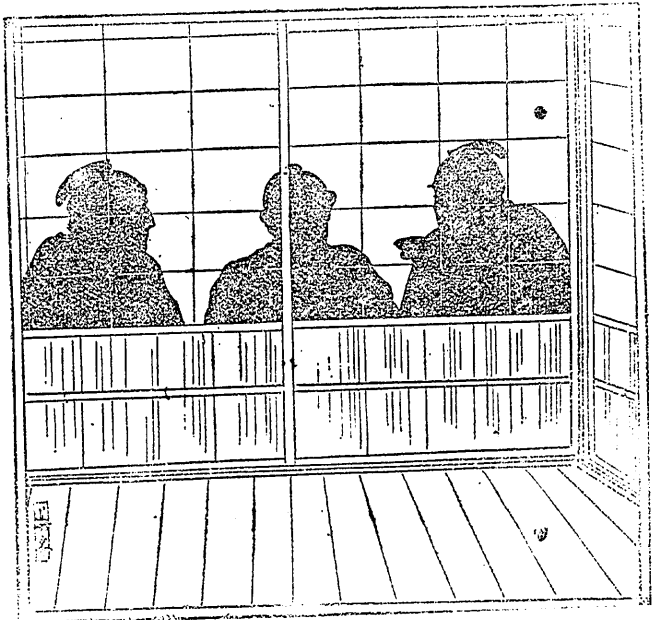
【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第百六十二回 徳川家に崇る村正

怪しい客と見て

徒上町の手習師匠青雲堂
鈴木重兵衛が、大恩寺前で
追剝の爲に非業の最後を遂
げた、その伴の重太郎が父
の伴討ちをしようと思つて
も敵が何物であるか分らな
い、そこで母とも相談の上
手習師匠をやめて父重兵衛
が金貸しをしてゐた位で金
も多分にあるので、八丁堀
の同心の株を買ひ、役人に
なつて専ら追剝強盗などを
捕え、その内には父の敵に
も出逢ふだらうと思つて居
ります、何に依つても始め
は様子が解らないから樂で
ない、種々失敬するが金が
あるから目上や朋輩にも手
當を充分にしてやるから、
誠に上下共に評判が好く、
存外功を奏することが出来
る、御用聞が何か當りを取
つた場合には、どうしても
自分の厚意を持つてゐる興
力や同心の處へそれを持つ
て行く、その捕物の主任と
なつて働けば自然功名も上
り上通の聞えも好いから出
世が早い、そんな譯で昨今
ではあるが、鈴木重太郎同
心の中でも立てられるやう
になりまして、鈴木が取
分け懸念にしてゐる御用



心になつた時も早速鐵五郎
の處を訪ね、自分の心持ち
を打ち明けて益力を頼んだ
鐵五郎も三吉も重太郎の孝
心に感心して、萬事宜しい
様に引き廻して呉れる、或
日鈴木重太郎非番で日頃は
御用が忙がしから、オチ
／＼家にあることもないが
今日は終日どんたくが出来
る、親孝行の重太郎母親が
家にはかり居て、浪屈だら
うから、今日は何處かへ連
れて行つて上げようと、留
守は奉行人に頼み、親子陸
まじく淺草觀音へ參詣を濟

見掛けて後を尾け途中親分
の鐵五郎に人殺しのあるこ
とを知らされた、そこで鐵五
郎が直ぐに出張をして、第
一に父親殺しの犯人を探索
したといふ深い關係があり
ます、その時にも鐵五郎が
しばしば重太郎の處へ尋ね
て來ていろ／＼尋ねたり何
かしたことがあるので、同

て、ドンチャン騒いでゐる
者がある重太郎が
重「コリヤ女中、大層繁昌
で結構だな」
女「有難う存じます誠に騒
々しくつてお氣の毒様で」
重「イヤ何ニ、人のことで
も陰氣より陽氣の方が好い
餘程大勢か客は」
女「左様でございます五人
様でございますが、藝妓衆
を七人程お呼びになつたの
で、大層お賑かでございます」

重「却々全盛だが、どうい
ふ様子の人だ」
女「お武家様ばかりでござ
います」
重「ナニ武家ばかり、ウー
ム左様か」
と言つたが流石に役柄、
早くもこれは怪しい奴だと
感付きました、それは何も
武士が大勢藝妓を呼んで騒
いたから怪しいといふ譯で
はないが、大聲に話しをし
てゐるから手に取る様に聞
えるが、どうも言ふことが
下卑である、當時の旗本御
家人には随分疎雑な口を利
く者がないでもなかつたが
酔つてゐても極る所はチャ
ンと極る、それが此の連中
の話は誠にいやしい、中に
年輩の者でもあるか、又酔
ふてゐない故か知らないが
時々他の者の言葉を注意し
たりする者もある、それだ
けに怪しい、然し何にして
も藝人揃ひで藝妓を相手に
唄ふ、踊るといふ騒ぎ、重
太郎の母もあきれた様子で
母「伴やソロ／＼戻りませ
うか」

重「左様でございますな一
寸お母さんお耳を拜借」
母「ハイ何ですか」
重太郎阿母の耳へ口を寄
せて廣間の客が怪しいから
行衛を調べやうと思ふから
一足先へお歸りを願ひたい
といふ母も承知をしてかご
を一挺眺えまして先へ歸り
ました、そこで重太郎は廣
間の様子をうかがつて居り
ます

長唄
花柳流
舞踊

御稽古を
おすしめ
致します

花柳流舞踊
研究所
花柳徳三郎
柀屋十茂代

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南町
道一七〇番

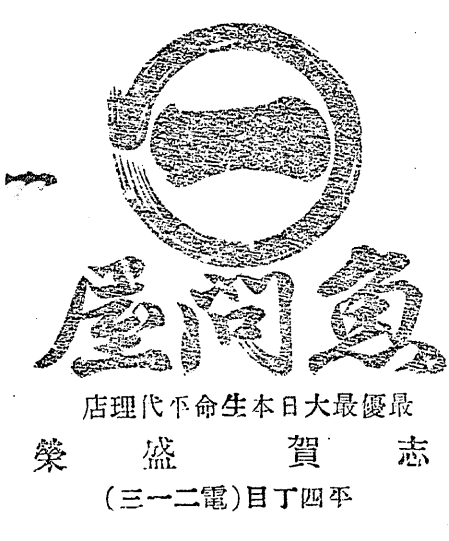
市原醫院
平町田町
電話一四四番

今流行のレコード
東京音頭
昭和音頭
福島音頭
萬歳音頭
スキー行進曲
希望の首途
春のエレチー
急げ幌馬車
ピクチャー特約店
コロムビア
平町五丁目
金光堂時計店

日本に唯一つ
魂の這入つた
東京工場
聯盟の自轉車
指定販賣所 フタバ商會
平新川町・橋際

中村齒科醫院
平町鍛冶町七

ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈魚の子



最優最大日本生命代理店
志賀盛榮
平四丁目(電話二一三)